



KANEPACKAGE GROUP OF COMPANIES

# KP Green Earth

A CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY PROJECT NEWSLETTER

2<sup>nd</sup> issue 2022



SDGs 未来都市



埼玉県



埼玉県

SDGsパートナー



# 経営ビジョン

私たちは、包装設計と梱包材、サービスを通じ、「驚き」と「感動」と「安心」を、世界の一つでも多くの国の、一人でも多くのお客様に、スピーディー且つタイムリーにお届けしていきます。

また、ステークホルダーからの信頼と企業の存在価値を高め、エクセレントカンパニーを目指していきます。

## 目次

ご挨拶 .....	2
会社概要 .....	3
カネパッケージグループのCSRとSDGの取り組みについて .....	3
マングローブ植樹活動の最新情報 .....	4
マングローブ植樹活動 .....	5-6
マングローブ植樹活動の再開 .....	5
2023年2月 マングローブ植樹活動 .....	6
マングローブ植樹関連のコミュニティ .....	7
地域貢献活動 .....	8
学校支援 .....	9
SDGおよび気候変動対策 .....	10
寄付活動 .....	11
フィリピンにおけるカネパッケージ奨学生 .....	12
KP CSR & Sustainable Development Goals .....	13
CSR プログラムの強力な支援者 .....	14





## 金坂 良一

カネパッケージ株式会社 - 代表取締役社長

カネパッケージグループは、CSR (企業の社会的責任) やSDGs (持続可能な開発目標) に沿った様々な活動を実施し、環境保全や気候変動対策に力を入れております。各取り組みを通じ、すべてのステークホルダーに「驚き」「感動」「安心」をお届けするという経営理念を実現するとともに、すべての人々のために母なる地球を守る「夢のパッケージ」の技術開発にも取り組んでおります。

中でも代表的な活動が「KP Green Earth マングローブプロジェクト」です。2009年にフィリピン・セブ島にて初めて実施し、今年で14年目を迎えております。現地地元の方々や自治体、フィリピン環境自然資源省との連携により、これまでに1330万本以上のマングローブを植樹しております。例年2回行っているこの活動には、弊社グループの各拠点の従業員だけでなく、お取引先様やそのご家族といったたくさんのステークホルダーの皆様積極的にご参加頂いております。2020年、2021年はパンデミックによる各種制限により実施が叶いませんでしたが、2022年11月には35名、2023年2月には39名の方にご参加頂きました。

改めまして、皆様の多大なるご支援に心より御礼申し上げます。

この活動は、環境の保護や改善といった効果のみならず、従業員の意識を高めることにも繋がっております。また、植樹活動への参加を通じ、普段異国にいる従業員が出会い、経験を共有し、更なる成長を目指すために励まし合う場にもなっております。

今年度、弊社は一般社団法人海外環境協力センターと、弊社のマングローブプロジェクトによるカーボンクレジットの可能性を調査する共同プロジェクトを立ち上げました。これにより、私たちの活動によって吸収された二酸化炭素量を定量化する方法を開発する予定です。

私たちは、環境保全は政府だけの責任ではなく、民間、特に企業や産業界との共同責任であると考えております。今後これら取り組みを更に拡充し、私たちの社会と母なる地球に貢献、新たなマイルストーンに導くことをお約束します。

引き続きのご支援とパートナーシップを心よりお願い申し上げます。

# ● 会社概要

会社名	- カネパッケージ株式会社
設立	- 昭和51年(1976年)9月29日
資本金	- 5,000万円
従業員数	- 1,300名 (関連会社含む)
事業内容	- ・各種緩衝材・設計・試験・製造・販売 ・段ボール・ソフトパック等のOA機器のパッケージ販売 (海外キット製品管理・梱包・総合物流サービス)
役員	- 会長 - 兼平 作太郎 代表取締役社長 - 金坂 良一 常務取締役 - 高村 賢二 取締役 - 兼平 裕二 取締役 - 勝野 旭 取締役 - 兼平 良太

## ● カネパッケージグループのCSRとSDGの取り組みについて ●

カネパッケージグループは、「CSR(企業の社会的責任)」と「SDGs(持続可能な開発目標)」を事業運営に取り込み、持続可能な成長を目指しております。

企業は利益を得るためだけに存在するのではなく、環境や人々の福祉に配慮し、恩返しをするために存在しているのです。

弊社のCSRプログラムには、  
 1) 環境 2) 人々への支援  
 3) すべてのステークホルダーの「安全・安心・福祉」  
 の3つのテーマを含んでおります。



持続可能な開発のための3つのボトムライン

# マングローブ植樹活動の最新情報



総植樹数: 13,341,724本

## 1 オランゴ島 セブ

- 植樹数: 449,575 本
- エリア: 10 ヘクタール
- 会員数: 35 人

## 2 バナコン島 ボホール

- 植樹数: 12,572,644 本
- エリア: 258 ヘクタール
- 会員数: 230 世帯

## 3 タンジャイ市 東ネグロス州

- 植樹数: 221,000 本

## 4 バディアン セブ

- 植樹数: 74,005 本
- エリア: 6 ヘクタール
- 会員数: 81 人

## 5 ビナルバガン 西ネグロス州

- 植樹数: 24,500 本
- エリア: 2.5 ヘクタール
- 会員数: 47 人

# ● マングローブ植樹活動

## マングローブ植樹活動の再開

パンデミックの影響で2年間延期されていたマングローブ植樹活動ですが、2022年11月24日からボホルのバナコン島へタフェで再開されました。

日本、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンのカネパッケージグループ会社の各拠点の代表および株式会社 Cozou、ケージーエス株式会社をはじめとするお客様、パートナー様にもご参加いただきました。地域組織であるBanacon Fisherfolks Mangrove Planters Association (BAFMAPA)とタフェの地方自治体との支援により、合計6,000本のマングローブの苗木を植樹することができました。また、参加者はボホール島の観光名所であるターシャの見学、チョコレートヒルズ、ロボック川クルーズなどを訪れる機会もありました。

このマングローブ植樹ツアーは年に2回開催され、カネパッケージグループ社員同士の交流の場にもなっています。



# マングローブ植樹活動 ●

## 2023年2月 マングローブ植樹活動

2023年2月24日、25日にボホール島のバナコン島ヘタフェで、マングローブ植樹活動ツアーを開催しました。総勢39名が参加し、1万本のマングローブを植樹しました。パンデミック発生後、マングローブ植樹を実施するのは今回で2回目となります。

この活動には、プロジェクトのパートナーであり、支援の受益者でもあるBanacon Fisherfolks and Mangrove Planters Associationに苗木の用意等、積極的に支援いただき、マングローブの植樹について簡単に説明する場も設けてくれました。

ツアー参加者は植樹体験を楽しみ、また近くにあるカネパッケージのマングローブ植樹エリアの大きさに驚いていました。

バナコン島の人々は、2011年から弊社のマングローブプロジェクトを積極的に支援してくださり、250ヘクタール以上の植樹を行っています。



# ● マングローブ関連のコミュニティ

## マングローブ植樹や共同管理による地域コミュニティの積極的な支援

目標達成のために重要な役割を果たしているのが、パートナーである市民組織(PO)の積極的な支援と参加です。実がなる季節には、特定されたエリアで種を収集、管理をし、そしてさまざまな種類のマングローブの苗床を維持してくれています。

また、植樹後の生存率を高めるために、植樹後の管理・モニタリングも地域コミュニティが積極的に関与してくれています。コミュニティは定期的に植樹地を訪れ、苗にくっついたプラスチック等を取り除いたり、枯れた植物を取り除いたりしています。この支援の引き換えに、植えた苗の本数やモニタリングに対して報酬が支払われています。

これはコミュニティにとって大事な副収入となっており、天候が悪くて漁ができない時期には、大きな助けとなっています。コミュニティは、CSRプロジェクトの積極的な支援者であり、カネパッケージに多大な感謝の意を示してくれています。



# 地域貢献活動

## デイケアセンターへ クリスマスプレゼント

毎年12月には、セブ、オランゴ島のサン・ビセンテとボホール、ヘタフェのバナコン島のデイケアセンターにクリスマスパーティーを開催時にはプレゼントを贈り、コミュニティ支援の一環を担っています。合計129人の子どもたちがプレゼントとジョリビーのフードパックを受け取りました。

このような地域貢献活動は、地域コミュニティへの恩返しと子どもたちの幸せを届けるために、毎年の恒例となっています。

カネパッケージの継続的な支援に、保護者と先生から、心からの感謝の意をいただきました。



# 学校支援

## マンダウエ市 セントラルSPEDスクールへの 寄付

カネパッケージのCSRとSDGsプログラムは、マンダウエ市のセントラルSPEDスクールに支援を拡大しました。2023年2月16日、このプロジェクトは正式に同校の校長であるMs. Carolina Ambray氏へ引き渡されました。

このプロジェクトには、理髪室、点字ラベラー、実技訓練用機器などの改修も含まれており、プロジェクト引き渡しの際には、同校の校長がこのパートナーシップに非常に喜んでおり、カネパッケージのマネジメントに感謝の意を表しました。

同校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者など、特別な教育を必要とする学習者のための学校となります。



# SDGおよび 気候変動対策

## カーボンクレジット プロジェクト

気候変動は、私たちの日常生活を脅かし、影響を及ぼす地球規模の問題です。その緩和と適応のための対策は、政府だけではなく、すべての人々の問題となっています。

カネパッケージグループは、CSRとSDGsプログラムを事業運営に組み込んでおり、このプログラムには、1) 環境、2) 人々への支援、3) すべてのステークホルダーの安全・安心・福祉、の3つの主要テーマが含まれています。

環境面では、弊社は2009年からマングローブの再生と共同管理に力を入れて取り組んでおり、すでにフィリピン中部では1300万本以上のマングローブを植樹しています。

カネパッケージは、マングローブのカーボンクレジットプロジェクトにおいて、海外環境協力センターと提携しました。このプロジェクトは、マングローブ植樹によって吸収されたCO2を定量化し、将来的にカーボンクレジットに申請することを目的としています。

このプロジェクトは、2022年7月から2023年2月まで実施され初期フェーズの状態です。

### コミュニティへのフィードワーク | 2022年9月



### 事前現地調査 | 2022年11月



ヘタフェ、ボホール市長CARY CAMACHO氏を  
表敬訪問 | 2022年9月

セブ市環境自然資源省 地域7での会議  
| 2022年9月

ケソン市環境自然資源省 生物多様性管理局での会議  
| 2022年10月



# アユタヤ 洪水義援金 寄付活動

2022年9月、タイのアユタヤ県の一部で大雨による洪水が発生し、物的・生活的被害が発生しました。

この災害により、カネパッケージタイランド社の複数の従業員が被災しました。その対応として、カネパッケージタイランド社のマネジメントは、被災した従業員に対して現金による支援を行いました。またKPGroup フィリピン社も緊急資金よりUSD 3,000を4人の従業員に支援いたしました。

過去の災害時の際にも、カネパッケージ経営陣は、一貫して従業員への支援と援助を行っています。



# フィリピンにおける カネパッケージ奨学生



**JENNY ROSE RAMOS氏**  
KPGROUP フィリピン社

会計学士号  
(BACHELOR OF SCIENCE IN ACCOUNTANCY)  
2020  
SAN BEDA COLLEGE (モンテンルパ市 アラバン)



**MARIVIC NAGPALA氏**  
カネパッケージ フィリピン社

経営学修士号  
(MASTER IN BUSINESS ADMINISTRATION)  
2022  
COLLEGIO DE SAN JUAN DE LETRAN (ラグナ州 カランバ市)



**KRISTINE MAE CASIPIT氏**  
カネパッケージ フィリピン社

医学博士号  
(DOCTOR OF MEDICINE)  
継続中  
ADVENTIST UNIVERSITY OF THE PHILIPPINES (カビテ州 シラン)



**ABNER BARNUEVO博士**  
KPGROUP フィリピン社

理工学博士号  
2018  
埼玉大学 (日本 埼玉)



**JAYMAR SATSATIN氏**  
スーパー・フレックス・ロジステック社

経営管理学士号  
BACHELOR OF SCIENCE IN BUSINESS ADMINISTRATION  
2021  
SAN PEDRO COLLEGE OF BUSINESS ADMINISTRATION (ラグナ州 サンペドロ市)



**JEAN CALAPUAN氏**  
KPGROUP フィリピン社

哲学博士号  
(DOCTOR OF PHILOSOPHY)  
継続中  
UNIVERSITY OF SAN CARLOS(セブ市)



**JONALYN QUIAPO氏**  
セブ市 オランゴ島コミュニティ支援受益者

生物学学士号  
(BACHELOR OF SCIENCE IN BIOLOGY)  
継続中  
CEBU INSTITUTE OF TECHNOLOGY UNIVERSITY (セブ市)



# KP CSR & SUSTAINABLE DEVELOPMENT

## GOALS

### 継続目標と短期目標

- 2023年10月、2023年11月、マングローブ植樹活動ツアーを継続開催
- 2023年、バナコン島とオランゴ島での医療ミッションの実施
- デイケアセンターへの支援
- 社員とコミュニティの受益者を対象とした奨学金制度

### 長期目標

- 2025年、マングローブ植樹1500万本目標達成を記念して、マングローブプロジェクトの節目となるセレモニーを開催
- 海外環境協力センターと連携したカーボンクレジットプロジェクトの継続
- 2050年までにカーボンニュートラル企業を目指す

# CSR プログラムの強力な支援者

2009年にKPGreen Earth Projectを立ち上げて以来、皆様からのご関心とご支援をいただいております。私たちのCSRプログラムの支柱であるグループ会社の皆様には、地域社会に貢献することを目的とした活動にご協力をいただき誠にありがとうございます。

この資金は、SDGsの目標達成のために、環境保全、地域社会への支援、受益者の生活向上など、さまざまなプロジェクトに活用され、弊社が提供する支援によって、ほとんどの受益者が自立への道を歩んでいます。



**勝野 旭**

KANEPACKAGE JAPAN CO. LTD  
本社取締役

私たちカネパッケージグループは、物流全体の効率化の実現に向けたサービスを世の中に提供しています。その中で社会に貢献することも重要だと考えており、CSR(企業の社会的責任)活動に積極的に取り組んでいます。

私たちは、お世話になっている地域社会の方々に対して、様々な取り組みを行っています。例えば、ボランティア活動、環境保全活動、教育支援活動などです。

これらの活動を通じて、私たちのグループが地域社会に貢献し、より良い社会を実現するための一助となっていることを実感しています。

現在はCSR活動からSDGsで掲げられた目標に対して、社会に貢献することを目指しています。また、こういった活動に取り組むことで、社員の意識の向上や、企業イメージの向上にもつながり、しいては当社の発展にも寄与していくものと考えています。

引続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



**高村 賢二**

KANEPACKAGE JAPAN CO. LTD.  
本社常務取締役



**兼平 裕二**

KANEPACKAGE PHILIPPINE INC.  
/ SUPERFLEX LOGISTIC INC.  
本社取締役/フィリピン各現地法人社長



**八木 誠悟**

KANEPACKAGE PHILIPPINE INC.  
/ SUPERFLEX LOGISTIC INC.  
本社執行役員/フィリピン各現地法人副社長



**石崎 純平**

PT. KANEPACKAGE INDONESIA  
インドネシア現地法人社長



**設楽 淳一**

KANEPACKAGE VIETNAM CO. LTD  
ベトナム現地法人社長



**甲斐田 敬恒**

KANEPACKAGE (THAILAND) CO. LTD  
タイ現地法人社長



**KPGroup Philippines, Inc**

**Alabang, Muntinlupa**

23F Tower 1, Insular Life Corp. Center, Filinvest  
Alabang, Muntinlupa City  
Tel. No.: 02 8555 1098

**Lapulapu City, Cebu**

510 iMEZ Bldg., The Outlets at Pueblo Verde, MEZ2,  
Basak, Lapu-lapu City, Cebu  
Tel. No: 032 8268 5903